

(4 枚中 1 枚目)

(代表質問)

質問日	令和 7 年 9 月 24 日 (水)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	31	氏名	加茂 俊武
表 題		質 問 内 容					答弁者の職名
1	市政運営の基本方針について	2025年度の折り返し地点での総括について、そして2026年度の市政運営にあたり、特に市民にアピールしたい施策、全国に誇れる施策について伺う。					中野市長
2	教育長としての決意について	本年 5 月定例会において、教育長は「真の教育はこどもと接するところにのみ存在する」という思いを強く意識してきたと述べられた。まさに、その通りだと思う。こどもと接するという、この思いを実現する為の、具体的な方針、施策を伺う。					野秋教育長
3	増加する不登校児童生徒への給食提供について	不登校児童生徒が、家から一歩出るきっかけとして、学校以外の場所で給食を提供できないか。学校給食は、こども達が学校へ行きたいと思うひとつの大切なコンテンツだと考える。実施についての考えを伺う。					野秋教育長
4	教職員の役職定年について	年齢別では、40歳から50歳の教職員が少ない状態であり、役職定年制度があることでこの世代が早い段階で管理職になることについては、メリットもあると思うがデメリットもあると考えられる。教職員の役職定年における現場の現状と今後の考え方について伺う。					吉積学校教育部長
5	学校給食を活用した地産地消の推進について	本市の誇りのひとつである 1 次産業との連携による学校給食の提供について伺う。 こども達が給食の為に学校へ行きたいと思わせるような、地産地消のおいしい給食を提供してほしいが、学校給食を活用した地産地消の強化に取り組む考えはないか伺う。					下位農林水産担当部長
6	保育事業の課題解決に向けて	(1) 保育士確保策について 市内では慢性的に保育士不足が続いており、採用市場は極めて厳しい状況にあると聞く。県のしずおか保育士保育所支援センターとの連携など、保育士確保策について伺う。 (2) 保育施設の大規模改修について 保育施設の老朽化が進んでいるが、現状では、定員増を伴う増改築という条件がある。 こども達に影響が出ないよう、緊急性の高い小規模改修については、制度を変えていく必要があるのではないか。補助制度の改定について伺う。					野田こども家庭部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(3) 保育所の定員について 今後5年、10年先を見据えた定員の考え方について伺う。	
7 本市の安全・安心の取り組みについて	(1) 本市における国土強靱化の取り組みについて 本市の強靱化対策は、これまでも着実に進められていると認識しているが、第1次国土強靱化実施中期計画の施策を踏まえ、以下について伺う。 ア 道路・河川における強靱化対策の状況と今後の加速化について伺う。 イ 災害時に持続可能な上下水道システムの構築に向けた取り組みについて伺う。 (2) 本市独自の高齢者免許返納サポート政策について 本年3月に発生した館山寺町での事故は大変痛ましいものである。本市は、免許返納サポートについて、一部の地域で地域バスの割引を実施しているが、高齢者が免許を返納しやすい環境整備の今後の対応について伺う。 (3) 津波による長時間の避難について 本年7月30日、カムチャツカ半島付近の地震による津波警報が発令され、多くの市民が避難場所へと避難した。津波警報は9時40分に発令され、解除されたのは18時30分であった。 実際に災害が発生した場合には、津波警報が解除されるまで長時間となるが、市はどのような対応を考えているのか伺う。	平井土木部長 奥家水道事業及び下水道事業管理者 濱田都市整備部長 清水危機管理監
8 立地適正化計画からみる持続可能なまちを目指すために	立地の適正化に関するまちづくりの方針では、「1 創造都市の取り組みを支援、都心の賑わい向上を図ります。2 公共施設の集約・再編を生活利便性を維持しながら進めます。3 公共交通で暮らしやすい機能誘導を図ります。4 産業振興を支える居住誘導を図ります。」としている。この4つの方針にすべてが盛り込まれていると感じる。 しかし、計画策定以降、都市機能誘導区域、居住誘導区域に変化がみられるのか、誘導はなされているのか、いまひとつ明確でない。また災害の多い地域も考慮して、まちづくりを考えることも重要である。 そこで、以下伺う。 (1) 都市計画マスタープランでは、立地適正化計画の誘導策を一体的に講じてコンパクトな都市の実現に向けた取り組みを推進するとしているが、誘導策の現状と課題、災害も考慮した今後の方針について伺う。	濱田都市整備部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
9 全国に誇れる公園を目指して	(2) 施設の統廃合や複合化を進める際は、地域の拠点施設の敷地が候補地になると思われるが、土地が充分確保されていないと折角の計画が実行に移せないことになる。特に都市機能誘導区域においては、土地の確保は課題であり、先行して取得するメリットは大きいと考えられることから、拠点となりうる公共施設周辺の土地は購入することも検討すべきだと考えるが方針を伺う。 公園は、本市にとって必要不可欠な施設である。今後の公園のあり方自体を大きな視点で捉え、利用状況に応じた公園のコンセプトを個別に創ることが求められると感じる。子育て世代にやさしい公園、高齢者にやさしい公園、スポーツを楽しむ方に魅力ある公園、雨天でも暑くても快適な公園などである。 民間企業との協力を含め、全国に誇れる特色ある公園の整備について考えを伺う。	鈴木財務部長 中村花みどり 担当部長
10 未来を見据えた財政運営について	予算編成に関する会派要望では、プライマリーバランスへの過度なこだわりを排し、必要な事業には、果敢に投資する財政運営をすることを提言している。 本市が少子化や人口減少を克服し、もっと元気になっていくためには、本市の若者はもとより、他の地域の出身者も含め若者が魅力を感じ、都市の将来に希望を持てるまちとなることが重要である。 未来を見据えた新たな投資と財政運営の基本的な考え方について伺う。	中野市長
11 若者に選ばれるまちづくりについて	若者に選ばれるまちづくりの為には、どこに、どのような投資をし、若者たちの心をつかむのが、重要である。 そして、市民に見える形で思いきった投資が必要だと思う。 (1) 若者に選ばれるまちづくりに対する未来への投資について、市長の思いを伺う。 (2) 魅力ある中心市街地は、若者にとって重要な要素のひとつである。アクト周辺、バスターミナル、市役所・浜松城公園周辺、はまホール跡地、イーステージ、クリエート浜松周辺などは思いきった整備をする価値が十分にあると思う。向こう20年、30年を考えた中心市街地活性化に対するハード整備に対する投資についての考えを伺う。 (3) 本市が魅力ある観光地であることは、市内外の交流人口の拡大につながる。浜松には、全国に誇れる観光資源「浜名湖」がある。存分に生かし市内経済の発展につなげていく必要がある。舘山寺、弁天島、浜名湖周辺への	中野市長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	観光施設の誘致など、本市への観光客の増加についての取り組みについて伺う。 (4) 魅力ある企業が存在するのかは、若者にとって重要である。I T系、プログラマー、クリエイターなどの人材が活躍できる企業の誘致について伺う。 (5) 高度な学びが地元に数多くあるかは、若者の人生の選択にとって大きな要素である。高等教育機関との連携、並びに誘致、設置についての考えを伺う。 (6) 良好な都市環境は、若者にとっても重要な要素であり、魅力のひとつとなる。拠点ネットワーク型都市構造における拠点整備への投資について伺う。	